



荒尾市が、国の「脱炭素先行地域」に選定されました!

石炭のまちから 新エネルギーのまちへ



荒尾市保健・福祉・子育て支援施設 Mirairo屋上



そもそも総合計画って何?

まちづくりの話は、少し難しく感じるかもしれません。
しかし、総合計画は私たちの暮らしと深く関わる大切な計画です。
令和8年度から令和11年度までの4年間、本市がどのような未来を描き、進んでいくのか。
まちづくりの方向を示す「未来への設計図」で、市政運営や施策の基盤となる「最上位計画」です。

Q1
なぜ必要なの?

人口減少や少子高齢化、デジタル化、脱炭素社会への転換など社会の変化に対応し、課題の整理と優先順位を明確にして計画的にまちづくりを進めるためです。

Q2
何を書いてあるの?

将来のまちの姿(将来像)と重点戦略、実現のための具体的な施策が示され、子育て・教育・福祉・防災・環境など、さまざまな分野の取り組みを整理し、一体的に推進していくための考え方がまとめられています。

Q3
どうやって作られたの?

子育て世代や高校生、市職員のワークショップや市民・中学生へのアンケートを通じ、多様な立場や世代の声を聴き、公募で集まった市民や関係団体の代表者で構成される審議会での議論を経て作成されました。

将来像の実現のため…

令和8年度の取り組み

<p>荒尾市保健・福祉・子育て支援施設 Mirairo オープン!</p> <p>4月から保健・福祉・子育てに関する機能を集約し、より質の高い市民サービスを提供! 6月には子どもの遊び場や調理室などもオープン予定!</p>	<p>道の駅ウェルネスあらお オープン!</p> <p>農水産物などの地場産品の販売で地域産業を振興! 観光情報や地域情報を発信し、市民や来訪者の交流を促進!</p>
--	--

未来をつくるのは、私たち一人ひとり — ともに歩もう、荒尾市の未来へ —

総合計画は、行政だけが進めるものではありません。
将来像の実現には、市民・事業者・地域団体など、まちに関わる一人ひとりの力が欠かせません。
「どんなまちで暮らしたいのか」「次の世代に何を残したいのか」
この計画をきっかけに、荒尾市の未来について一緒に考え、歩みを進めていきましょう。